

クリスマス、数日前に友人からこんな素晴らしい詩が送られてきた。何度も何度も繰り返し読みながら、今更ながら人との出会いの大切さを教えられ、また、『汽車の運転手さん』は誰であろうかと考えながら読まされました。それぞれが新しい年に考えるべきテーマではないかと思いました。

「汽車、人生の」
生まれた時、汽車に乗り、そこで両親とあった、両親がいつも傍らで旅をするに信じた。
しかし、どこかの駅でいつか汽車から降り、自分たちだけで旅を続けることになるであろう。
時がたち、大切な人たちが汽車に乗ってくる

兄弟、友人、子供たち、それから人生の愛も。
汽車から大勢の人たちが降りて、空白を残していく、ある人は気付かれないままに、空席を後にする。
汽車は喜び、悲しみ、夢、
これが一番大切なことだ

南加キリスト教教会連合

「汽車、人生の」

前原利夫

期待、挨拶、サヨナラ、そして最後の告別、それらをつらばい乗せて走る。
成功、それは汽車に相乗りする一人一人と良い関係を保つことからくる。最も、自ら最善を尽くすことだ

ね。
時がくれば、どこかの駅で降りて、後ろに空席を残していくが、
その駅から旅を続ける人に美しい思い出を残していかなければならない。

あなたが、また、
旅であることを願います。
収穫せよ、成功を、振りまけ、たくさんの愛を！
忘れてはならないこと、それは神に感謝することだ！
最後に、あなたが私の汽車に乗ってくれたこと、心からありがとうございます！

(私訳)

人生、旅によく例えられるが、乗り物に例えたこの人生の旅も素晴らしい。人の成功は汽車に乗り込んだ人たちと良い関係を持つことが大事と聞く。
ここでの『成功』はビジネスの成功という限定された意味ではないと思う。人生の成功は単に物によって測定できるような安っぽいものではないからです。成功とは人と人

のいい関係でもあるが、また自ら最善を尽くすことです。最善を尽くさないと、ついつい、わがままや独りよがりになり、人ともうまくいかないものです。
私たちは相乗り者が次から次へと下車していくのを目撃しながらも、自分の駅は『未知の駅』であることを知っている。人生の成功は未知の駅に到着する前に、自分がなすべきことを成し遂げ、後悔のないように生きることではないでしょうか。私たちが後に残す空席を次の乗客者に譲るとき、喜び、嘆ぐわいぐいの空席を準備したいものだ。そして、「あなたが私の汽車に乗ってくれたこと、心からありがとうございます！」と言いつつ、それはそうと、汽車の操縦

士は誰か、選択を間違うとんだ目的地に着くことになり。未知の駅に降りた後も一緒にいて下さるお方が一番安心ですね。
旧約聖書(申命記)にこんな言葉があります。
「驚がその巢のひなを呼び起し、
その子の上に舞いかけり、
その羽をひろげて彼らをのせ、
そのつばさの上にこれを負うように」
忘れてはならないこと、それは神に感謝すること！
2015年、祝福された一年でありますようにお祈り致します。
(ゴスペル・ベンチャー教会牧師)

2015年を迎え、私はキリスト教会の牧師として今年の抱負を考えますが、その中の一つを皆さまと分かち合いたいと考えています。ある人が、「なんとなく今年はいいことあることと元旦の朝はれて風なし」、また、もう一つ、人間の生涯の歌です。「年々歳々花あい似たり、歳々年年人同じからず」。この歌は大変意味のある歌であります。人間はいつでも肉体的に精神的に一刻一刻変化しています。決して過去に戻ることは出来ないのです。

誰でも新しい年は希望と、期待とに溢れてスタートされたと信じます。誰も過去に生きることは出来ないのです。しかし、多くの人は新しい年を迎えても、過去に生きている方が多いには驚きます。聖書の中に「後のものを忘

れ、前のものに向かって体を伸ばしつつ目標を目指して走り」とあります。ですから、優先順位を決めて新しい目標に向かって前進することが人間のあるべき姿であります。決して過去に帰ることが出来ないのです。未来に向かって進む人間としてどのように生きるべきでしょうか。大きな課題であります。

私たちが人間は誰でもお互いに神様から才能、即ち、賜物が与えられて今生きているのです。どこから見ても才能がない人間はいないのです。その人しか出来ない才能が与えられているのです。その賜物を発見して、その賜物を磨いて、その人にあった場所で発揮できるのであれば、その人の人生は満ち溢れる歩みとなるのです。

この地上には同じ人はいません。同じようにお互いに与えられている能力は違っています。その違いが必要なのです。その賜物をお互いに認め合って、活用すること出来るならば、すべての方が出来るのであれば、すべての方が必要になるのであります。この奥義は大きくて深いのです。

問題を感じない。そして一緒に問題を解決する。とあります。お互いに一緒に進むことです。一つのものに向かって進むところに必然的に一致が生まれます。お互いの立場を理解し、尊敬し合って、またお互

ます。会社の繁栄の背後にはお互いに与えられた賜物を発見して、認め合って、賜物を最善に効果的に活用することであり、組織の中では自分勝手なことはできません。決められた枠の中で活動が出来るのです。教会は一般的にこの世の社会と異なっています。即ち、キリスト教会は神の家族です。一般的な家族は両親の下に子供たちと一緒に平和を築き上げて行きます。そして、お互いに幸福を求めて生活するのです。しかし今の家族関係は親は親、子供は子供が同じ屋根の下で自分勝手な生活をしている家族が多くなりました。寄り合い所적입니다。ですから、お互いに別の世界に生きているのです。お互いに話し合って、協力もなく、一致を守ることもできない状態にあります。親子、兄弟が互いに憎しみあっているのです。本当に残念です。ある意味で、一人ひとりの中に平和がなく、家庭、社会、世界の平和は望めないのです。しかし教会は神の家族です。お互いにも聖書の教えが理解され、教育、生まれた環境、背景は違いますが、しかしキリストを生活の土台として、また、教会の頭はキリストです。教会の方は神様、他の人、そして自分のために生かされているので、神様のために目標を立てて、お互いに生かされている群れであります。

南加キリスト教会連合 目標を目指して走る

河野亮平

(合同教会牧師)

(6) 2015年 (平成27年) 2月12日 (木曜日)

昨秋、私は日本の故郷で開かれた中学と高校の還暦祝いを兼ねた同窓会に出席しました。高校の方は卒業25周年から5年ごとに開かれ、ほぼ毎回参加していましたが、中学の方は同窓会そのものが久しぶりで、中には卒業以来の再会となる級友もいました。同じ学年の卒業生の約3割がそろい、既に他界された故人、連絡が取れなくなっている、または今回は参加できなかった者たちを思いつつ、自分たちがその場に集うことができ、た幸運に感謝でした。風貌が皆さん大いに変わったものの、面影はどこに残っているもの。面白いのは会話が進むにつれ昔の感覚が蘇り、まるで当時にタイムスリップしたような不思議な気分でした。

同じ山河を見て育ち、その後40余年の人生をさまざまな場所を過ごしてきた友との出会いは本当に格別なもので、昔話に花が咲きました。男も女もない同士のよう何ともいえない運命を感じながら、

帰郷のたびに、いつしか私は、「なぜ自分はこの地で日本人として生まれ、はるかアメリカまで行くことになったのだろうか」という思いをめぐらすことがあります。良き地で良き両親の下に育て

代と就職後も過ごした東京でそのまま生活することもありだったのにどうしてなのか。確かにアメリカに対する憧れは物心ついた頃からありました。成人してからは、渡米の機会を求めていました。従って全ては自分が決めてきた故なのだ、以前は思っていたものです。人生は自分のものであり、自分の力次第でいかようにもなると思い込んでいた頃です。

そして、この世に生を受けたのは創造主である神からの一方的な恵であったこと、今あるのも自分の力など完全に超越した神の導きがあればこそであることを知ることができ、やっとな得ができるようになったのです。その時々には自分では訳が分からなかったことが今思い返して見ると、偶然の結果ではなくそれぞれに意味があり、自分には必要

南加キリスト教教会連合

還暦を迎えて

マックス山口

な道のりだったことに気付かされました。私を当地に遣わされ全てを与えて下さった神の御心に沿った生き方をし、わが地上人生に悔いなしという思いで全うできたなら何と幸いです。とであらうかと思えます。先日ある所で、私も還暦を迎えましたとお伝えしたところ、その場におられた人生の大先輩の皆さんから一斉に「若いですね」と言われ恐縮しました。しかし客観的には、人生レースの第4コーナーを回り終えようとしています。

恩師のお一人が還暦祝いの席で「皆さんにとって、これからが生涯で最も大事なものと云います」と語られました。心に沁みたるその言葉を反芻(はんすう)しています。(オレンジコースト・フリーメソジスト教会)

(6) 2015年(平成27年) 2月26日(木曜日)

日本人の自閉症の若者が書いた1冊の本が世界20カ国以上で翻訳され、ベストセラーになっているのをご存知ですか？ タイトルは「Reason I Jump」(日本語：「自閉症の僕が跳びはねる理由」)。著者は、当時13歳の東田直樹さん。

東田さんは会話のできない重度の自閉症ですが、パソコンや文字盤ボイテイングによりコミュニケーションが可能なのです。この本は、自閉症者自らが語る極めて画期的な作品ですが、出版された当初は、ほとんど話題になることがありませんでした。それがなぜ突然、7年も経って、遠くイギリスやアメリカでベストセラーとなったのか。この本を英訳したのは、アイルランド在住の作家デイ

ヴィッド・ミッチェル氏。彼にも自閉症の息子がいます。日本語教師の経験があるミッチェル氏は、東田さんの本を読んで、まるで息子が自分に語りかけているように感じた

ミッチェル氏の訳した本は、自閉症の子供を持つ、世界中の多くの家族をも救うことになったのです。これは、日本の自閉症の若者と外国人作家の出会いから生まれた希望の

南加キリスト教会教会連合

「自閉症の僕が跳びはねる理由」を読んで

鶴田 健次

そうです。息子がなぜ床に頭を打ちつけるのか、なぜ奇声を発するのか、息子とのコミュニケーションをあきらめていたミッチェル氏に希望の灯がともったのです。そして

物語です。その一部を以下にご紹介します。「僕たちは、自分の体さえ自分の思い通りにならなくて、じっとしていることも、

言われた通りに動くこともできず、まるで不良品のロボットの運転しているようなものです。：僕は世の中の全ての人に見捨てられたような気持ちでした。僕たちを見かけただけで判断しないで下さい。どうして話せないのかは分かりませんが、僕たちは話さないのではなく、話せなくて困っているのです。：話せないということはどういうことなのかというのを、自分に置き換えて考えてほしいのです」

私はNHKの下キユメンタリーを見て初めて東田さんを知りましたが、このように重度の自閉症でありながら、普通以上の感受性と知性を秘めていることを彼自身の言葉から感じ、とても感動しました。

自閉症でなくても、社会での「生きにくさ」を感じている人の多くが、自分の気持ちをこんな風に言語化できるんだ、と思われたことでしょう。全ての自閉症児が東田さんと同じではないでしょうが、何者である前にすべての人が人間であることの重みを突き付けられた思いになりました。

自閉症の子供は、なぜ跳びはねるのか、なぜ床に頭を打ちつけるのか、なぜ奇声を発するのか、そのすべての行動に常人には分からない理由があることを今まで知りませんでした。自閉症の人は、出来ない事が多くても子供扱いされたくない、年齢相応に接してほしい、そう願っていることを頭に叩き込まれた思いです。(LVJC 牧師)

(6) 2015年(平成27年) 3月12日(木曜日)

これが最後になるでしょう。孫娘のことについて皆さまに読んでいただきましたが、これぐらいで終わりにしようかなと思っています。理由は、あまり書くと後で怒られるかもしれないからです。

「Shunjiはわたしのことを書いて皆に言いふらしている」と言われたら大変です。

今までは、娘夫婦も日本語を読めませんし、あれぐらいのことは許してもらえなくてしょうし、笑って済ませることが出来るかと思っています。でもあまり大きくなってからのことを書くと、それで済まないかもしれない。

前置きが長くなりました。今回気づいたことは、孫娘のナタリーがわたしたちと別

るときに泣くことが多くなつたことです。家内が送って行ったとき、また娘夫婦が迎えに来て連れて帰る時、今までは泣くことがなかったので、最近によく泣きます。

が必要な時に泣くのが当たり前です。その他は寝ているか、何かに反応して笑っているか、このように成長してくと本能的にはなく、「別れ」がどのような意味を持つ

南加キリスト教会連合

別れの涙

溝口 俊治

その涙や、泣く声を聞いているとこちらまで寂しくなってしまう。

そんなことを考えていると、赤ちゃんの時はお腹がへったり、おむつを替えるの

ているかに気づき始めるからでしょうか、「別れの涙」を流すのです。

ナタリーのそのようなくさを見て、わたしも人生を今まで送ってきて「別れ」を実感

するようになってきたように思います。青年、壮年の時は気付かなかった、またあまり重きを置いていなかった「別れ」が現実のものとして心を占めるようになってきたのです。

牧師として多くの方々の告別式をする中、自分の心の一部が引き裂かれていくように思います。ただその人がいなくなるというだけではないのです。「別れ」が死であるというならなおさらですね。死んだ人とはもう決して会うことが出来なくなるのですから。ナタリーもそこまで深く考えてはいないでしょうが、「別れ」の中にそんなことを予感か。

しかし、聖書では死による「別れ」は最後ではないと言います。人の罪によって死が入って来た人間の歴史に、神様は主イエス・キリストによる救いを与えてくださいました。十字架に死なれた主は、復活されたのです。それによつて主イエスを信じる信仰は、死を克服し、永遠の命を与えられるのです。このことをわきまえるとき、ナタリーも主イエスを信じているゆえに、たとえわたしたちが死んだとしても、再会の機会があるとまことの希望を持つことが出来るのです。それが「別れの涙」を喜びに変えるのです。

(ロサンゼルス・ホーリネス教会)

2015年 (平成27年) 3月26日 (木曜日)

「人間は死に直面した時ス
ピリチュアルペイン(靈的痛
み)を持つ」といわれていま
す。それは、人間は靈的な存
在であり、その内なる声とし
て人はなげ生まれて、なげ死
ぬのか、生きる意味は何なの
か、死後どこへ行くのかなど
人間の存在そのものに関わる
問いかけがあり、それを求め
る痛みだからです。

しかし日本は明治以降、文
明開化の波にもまれて欧米の
科学技術や政治、社会制度を
取り入れ、それをなぞりなが
ら新しいものを模索し成長前
進しました。特に、第二次世
界大戦後その経済成長と発展
は世界の注目するところとな
りました。しかし、その急速
な成長と繁栄の中で、人間存
在の大切な根幹をなしている
靈的な感性と心をどこにおぼ
さりしてきたのではないで
しょうか。

そんな中、数年前に日本の
ある医師が面白い題の本を著
しました。『人は死なない』
というものです。
その著者である矢作直樹氏
経験するがその霊・魂は生き
るといふ意味の事を述べてい
ます。科学の粋を集めた最新
医療の世界で救命に携わりな
がら、科学だけでは理解、説
明出来ない事柄があることを
大胆かつ真しに明かしておら

ないものがたくさんあるわけ
です。ましてや、人の生き死
にに関しては私たち自身はそ
の明確な答えを持っていませ
ん。ただ、示されている真理
は人は絶対的な力と知恵を
持ったお方の意志と計画、撰
理によって造られ、その備え
られたいのちを生き、そして
地上生涯を閉じていくので
す。

肉体に与えられたいのちに
は限りがあり死を迎えます。
しかし、同時に人間には魂、
あるいは霊が与えられていて
その魂、霊はそれを造り与え
られたお方、神の救いの計画
と撰理に帰結します。肉体の
死が死で終わらないことを神
は私たちに見える形で示され
ました。それがキリストの死
とよみがえりです。

南加キリスト教会連合

永遠のいのち

川原 信夫

は東京大学大学院医学部付属
病院救急・集中治療部部长と
して今も救急医療の現場の第
一線に立ち、患者のいのちと
死に毎日向き合いその臨床経
験を踏まえて、人は肉体的に
は100パーセント「死」を
れます。
人間のからだはおおよそ60兆
個の細胞で出来ていて、その
細胞が有機的に連携して複雑
な活動をしているそうです。
これひとつをとっても私た
ちの知恵や知識では解明出来
ます。

その絶対的な存在を神とし
て認識し受入れるかどうかは
個人に委ねられますが、造ら
れた存在としてその与えられ
たいのちを目的をもって精
一杯生きる事は、それを与え
られた者の責任であり特権で
す。そしてそのいのちには一
人ひとりに与えられた固有の
長さがあり、それを一般的に
は寿命という言葉で表現出来
ます。

キリストは言います。「わ
たしは、よみがえりです。い
のちです。わたしを信じる者
は死んでもいけるのです。ま
た、生きていてわたしを信じ
る者は、決して死ぬことがあ
りません。このことを信じま
すか」信仰を持って、この永
遠のいのちを得るイースター
をお迎え下さい。
(アンカー・サウスベイ教会
牧師)

(6) 2015年 (平成27年) 4月9日 (木曜日)

「たれこめて春の行方も知らぬまに 待ちし桜も移ろひけり」

今年はまだ花見に行きましたか？ 桜は日本人にはとても馴染みの深い、特別な花です。私は1991年に日本を出て以来ずっと海外で生活しています。1991年からオレゴンで1年を過ごした後、

1992年から2011年までの19年間はタイにいました。2011年からカリフォルニアにいます。タイにいた頃に見たくても見ることで

きなかったものの一つが満開の桜でした(もちろん、タイでは雪も見ることはありませんでした)。

タイでは4月が一年で暑い季節で学校も夏休みとなります。ご存じの方もいらっしゃる

るかもしれないですが、この一番暑い季節にタイ正月、水かけ祭、があります。日本の4月とは全く違う、桜の花見がない生活でした。

一度だけ4月に日本に帰国

終わりから年度のはじめにかけてということもあり、桜の花に忘れられない思い出が重なることも多いと思います。合格発表(または残念だった結果発表のこともあるでしょう

南加キリスト教会教会連合

素晴らしい咲き方

大里 英二

したことがあり、今は亡き父と二人で福島の塩ノ崎の大桜を見に一泊二日で行きました。私にとっていつまでも忘れられない楽しい思い出になっています。

う)、入学式、別れ、旅立ち、新しい出会い等々の思い出が桜を見ると脳裏に浮かびます。また、桜はその満開の時の美しさに対してあまりにも呆気無く散ってしまうので、私たち日本人はそこに哀

れを感じます。冒頭の詩は藤原因香のものですが、桜の花の命が短いことを詠っています。桜の花を待っていたのに家にこもっている間に桜は散ってしまったというのです。そうです、桜は美しいものでありながら、短い命だからこそ私たち日本人は桜に深い思いを寄せるのです。そして、わたしたちは自分の人生をこの短い命の桜の花に重ねて見るのです。

しもうとしていないでしょうか。「桜のように短い期間だけでもパッと開いて、美しく咲いて、そして、散っていくばいじゃないか」と思っているのではないのでしょうか。しかし、ここに永遠に散らない生き方があるとしたらあなたはどうしますか？ 今の人生を満開の桜のように輝いて生き抜き、しかも散らない生き方が聖書にはつきりと書かれています。人生は桜の花のようにいつかは終りが来る、しかも意外と早くその時が来る、しかし、イエス・キリストを信じて生きる時に終わりのない、素晴らしい咲き方ができるのです。一緒に咲き続けませんか？

忘れたくない楽しい思い出になっています。

も呆気無く散ってしまうので、私たち日本人はそこに哀

れを感じます。

か。」「桜のように短い期間だけでもパッと開いて、美しく咲いて、そして、散っていくばいじゃないか」と思っているのではないのでしょうか。しかし、ここに永遠に散らない生き方があるとしたらあなたはどうしますか？ 今の人生を満開の桜のように輝いて生き抜き、しかも散らない生き方が聖書にはつきりと書かれています。人生は桜の花のようにいつかは終りが来る、しかも意外と早くその時が来る、しかし、イエス・キリストを信じて生きる時に終わりのない、素晴らしい咲き方ができるのです。一緒に咲き続けませんか？

(ガーデナバレーバプテスト教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 4月23日(木曜日)

500年前の日本を知るために、とても面白く、貴重。先日、NHKの「歴史秘話・ヒストリア」で、ザビエルの生涯、ことに日本に到着した1549年以來2年間のことをドキュメンタリーふう

の愛、人への愛の成長を旨指して、個人的に絶えず祈り努力し、手紙の中で相手の人たちにも敬虔の修行を熱心に勧めている。真面目、敬虔な人であったのだな、と思わされた。彼は、「いごよろしく・1549」に鹿児島に到着し

られても、武士以外の階級のものは結婚しません。名譽は富よりも、ずっと大切なものとされているのです。これが、日本に滞在して2年後の手紙では、以下のように変わっている。「日本の国

に近くには中国の国があり、前に書きましたように、「日本の仏教」諸宗派は、中国から伝えられたものです。中国はたいへん大きな国で、平和で、戦争は全くありません。そこにいるポルトガル人からの手紙によりまずと、正義がたいへん尊ば

れている国で、キリスト教国のどこにもないほど正義の国だそうです。日本や他の地方で、今まで私が会った限りでは、中国人は極めて鋭敏で、才能が豊かであり、日本人よりもずっと優れ、学問のある人たちです。そこで、彼は1552年に中国に渡り、北京で皇帝に会い、宣教の許可を得たいと願った。中国にキリスト教が広まれば、日本の仏教諸派は、その国から伝来した宗教に信頼を失い、日本での宣教も、もっと急速に進むと考えたのである。その年、日本人青年4人を連れてインドのゴアに一度戻り、中国への入国を目指して再出発したが、12月3日に大陸のそばの上川島で病死した(46歳)。ザビエルの日本滞在は、わずか2年余であったが、その影響は甚大であった。10カ月に、鹿児島で洗礼を受けた日本人は、150人ほど。これには、かつては日本からの逃亡者であったが回心してザビエルと共にゴアから戻った弥次郎という信者の協力もあった。それにしても目覚ましい働きである。山口では、2カ月間の滞在で、500人が信仰者となった。それから65年後、1614(慶長19)年の統計によれば、聖職者150人、信徒数65万を超え、信徒の中には公卿2家、およびクリスチャン大名55人。これは、日本の歴史の方向を変えるような新しい流れであった。豊臣秀吉とその後の徳川家のキリスト教の禁教、徹底的迫害・弾圧がなかったら、今の日本の宗教状態はどうなっていたらうかと思わされる。

南加キリスト教会連合

フランシスコ・ザビエルの手紙

相原 雄二

当時名門であったパリ大学に留学していたが、同室の学生イグナチオ・ロヨラの強い勧めと感化のもと、聖職者となる道を選び、その2人を含む7人の学生が、共に神に身を捧げる決意をして、「イエズス会」が結成された。この番組がかなり面白く、興味を湧いたので、彼の書簡集を購入して読んでみた。手紙には、人の内面も現れるものである。この人は、神への愛、人への愛の成長を旨指して、個人的に絶えず祈り努力し、手紙の中で相手の人たちにも敬虔の修行を熱心に勧めている。真面目、敬虔な人であったのだな、と思わされた。彼は、「いごよろしく・1549」に鹿児島に到着し

初期の印象は、「この国の人々は、今までに発見された国民の中で、最高であり、日本人より優れている人々は、異教徒のあいだでは見つけれないでしょう。たいへん貧しい武士は、どんな富を与え

た。の国があり、前に書きましたように、「日本の仏教」諸宗派は、中国から伝えられたものです。中国はたいへん大きな国で、平和で、戦争は全くありません。そこにいるポルトガル人からの手紙によりまずと、正義がたいへん尊ば

れている国で、キリスト教国のどこにもないほど正義の国だそうです。日本や他の地方で、今まで私が会った限りでは、中国人は極めて鋭敏で、才能が豊かであり、日本人よりもずっと優れ、学問のある人たちです。そこで、彼は1552年に中国に渡り、北京で皇帝に会い、宣教の許可を得たいと願った。中国にキリスト教が広まれば、日本の仏教諸派は、その国から伝来した宗教に信頼を失い、日本での宣教も、もっと急速に進むと考えたのである。その年、日本人青年4人を連れてインドのゴアに一度戻り、中国への入国を目指して再出発したが、12月3日に大陸のそばの上川島で病死した(46歳)。ザビエルの日本滞在は、わずか2年余であったが、その影響は甚大であった。10カ月に、鹿児島で洗礼を受けた日本人は、150人ほど。これには、かつては日本からの逃亡者であったが回心してザビエルと共にゴアから戻った弥次郎という信者の協力もあった。それにしても目覚ましい働きである。山口では、2カ月間の滞在で、500人が信仰者となった。それから65年後、1614(慶長19)年の統計によれば、聖職者150人、信徒数65万を超え、信徒の中には公卿2家、およびクリスチャン大名55人。これは、日本の歴史の方向を変えるような新しい流れであった。豊臣秀吉とその後の徳川家のキリスト教の禁教、徹底的迫害・弾圧がなかったら、今の日本の宗教状態はどうなっていたらうかと思わされる。

間には、鹿児島で洗礼を受けた日本人は、150人ほど。これには、かつては日本からの逃亡者であったが回心してザビエルと共にゴアから戻った弥次郎という信者の協力もあった。それにしても目覚ましい働きである。山口では、2カ月間の滞在で、500人が信仰者となった。それから65年後、1614(慶長19)年の統計によれば、聖職者150人、信徒数65万を超え、信徒の中には公卿2家、およびクリスチャン大名55人。これは、日本の歴史の方向を変えるような新しい流れであった。豊臣秀吉とその後の徳川家のキリスト教の禁教、徹底的迫害・弾圧がなかったら、今の日本の宗教状態はどうなっていたらうかと思わされる。

(ミッシヨン・ピエホ日本語教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 5月7日(木曜日)

イエスの母がマリアという名であったことは、誰もが知っている。しかし、不思議なことに、ヨハネの福音書には、そのマリアという個人名が一度も出てこない。同じマリアという名を持つ、ベタニヤのラザロの姉妹マリアとマグダラのマリアの名は何度も記されているが、イエスの母マリアのことは、「イエスの母」と呼ぶだけ。それには、

実は理由があつて、作者が一つの真理を比喩的にほめかしているからである。

2章の冒頭にある、有名な、イエス様が水をぶどう酒に変えられた話では、次のようになっている。

それから3日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、そこにイエスの母がいた。イエスも、また弟子たちも、その婚礼に招かれた

(ヨハネ2章1から2節)。

これは、まだ彼のミニストリーの始まりの時、だれも彼を信じておらず、彼の超自然の力を信じる信仰もなかった。そこで、彼の母マリアは、イエス様と弟子たち、ま

と云つて、その奇跡が起きるための助けをした。

このマリアが福音書に再び登場するのは、イエス様が十字架に架けられた時である。

兵士たちはこのようなことをしたが、イエスの十字

南加キリスト教会連合

イエスの母

浅井 導

たやがて彼を信じる人々の間で、その仲介的な働きをする。ぶどう酒がなくなつたらと云つて、彼が何かをなさるおつもりではないのを見て、彼女が、しもべたちに、「あの方が言われることを、何でもしてあげてください」

架のそばには、イエスの母と母の姉妹と、クロパの妻のマリアとマグダラのマリアが立っていた(19章25節)。

自分の息子が、このようにして十字架の上で殺されていくのを見ることは、その母として耐えられないことであつたことは言うまでもない。

あなたの土地の初穂の最上のもを、あなたの神、主の家に持って来なければならぬ。子やぎを、その母親の乳で煮てはならない(出エジプト23章19節)。

あなたの場合は、「そこに、あなたの場合は、イエスの母と

この「母親」がマリアであり、神の御霊、すなわち聖霊のシンボルであつた。その聖霊は、彼が復活なさつた後、今度はその弟子たちに与えられ、神と人々との仲介者として、今も教会を助けていて下さる。教会はキリストの花嫁であり、聖霊はその助け主として、お母さんの働きをなさる方。したがって、イエスの母は、比喩的に私たち教会の母でもあるという訳だ。聖霊様、いつもありがとうございます(ダヴァール神の国牧師)

(6) 2015年(平成27年) 5月21日(木曜日)

新年度、新しい環境でつい
頑張りすぎてしまったことか
ら起きる体調不良や疲れ、気
力の低下は5月頃から訴える
人が増えるそうです。緊張
を強いられていた気持ちが一
トレスとなつて心身に変調を
来すからです。そのことから
「五月病」という名称が付け
られています。

起きる時、気分が悪い。や
る気が出てこない。集中力が
ない。イライラしている。人
に会いたくない。頭が痛くて
体がだるい。肩間にシワが
寄ってないですか？言葉の
毒を吐いてないですか？な
ど、症状はいろいろです。
病気になるって、喜ぶ人はあ
まりないかもしれません。

映画俳優のマイケル・J・
フォックスは、30歳にして80
歳の病気だといわれるパーキ
ンソン病にかかってしまいま
す。の中で心の内を説明していま
す。「病気になったにもかか
わらず、ではなく、病気に
なつたおかげで、野心的な激
しい性格からより内省的で他

南加キリスト教会教会連合

五月病

平田ベッキー

者を理解することのできる人
間になった。もし、10年前に
戻って、以前の自分に戻って
病気でない人生を歩むのと、
今の自分と、どちらを選ぶか
というのと、以前のわがまま放
題の視野の狭い人生には戻り
たくない」
神様は苦しみを贖(あが
な)うということをお存じで
しょうか。悪を善に変える
事ができます。悪をまつたく
違う次元に変えてしまうので
す。

フオックスも、苦しみに
よつて、自分が全然違う人に
変えられたと話しています。
神様は、苦しみを無駄には
しません。地上で生きている
間、苦しみがなくなることは
なくても、苦しみが変えられ
ることは約束されています。
聖書に出てくる使徒パウロ
は、艱難(かんなん)を喜ん
でいると言っています。なぜ
なら、艱難が忍耐、練られた
品性を生み出し、練られた品
性が希望を生み出すからだ
というのです。希望は私たち
天に向かわせ、天においてそ
の苦しみが贖(あがな)われることを約
束しています。
キリスト教には復活があり
ます。復活の希望を確かなも
のとするために、キリストが
来て下さいました。5月、苦
しいと悩む時かもしれませ
ん。キリストに私の苦しみを
変えてくださいと、祈りたい
と思います。
(ウエストロサンゼルス合
同メソジスト教会、フェイ
ス合同メソジスト教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 6月4日(木曜日)

前回日本に行った時、飛行機の中で急病人が出て、いきなりキャビンアテンダントが悲痛な声で、

「どなたか、お客さまの中でドクターかナースの方はいませんか？ 急病人がおりますので、キャビンアテンダントまで名乗り出てください！」というアナウンスがあった。

あるダンディーなドクターらしき人が名乗り出て、治療に当たり、しばらくしてその急病人が落ち着いたというアナウンスがあった。皆で「おー！よかったー！」と拍手した。

もし自分がドクターで、人を救う術(すべ)を知っていたら、当然知らん振りはできないよね？ 「うるせーなー！ 今こっちはバケーション中なんだよ！ 病人なんて、勝手に苦しんでいろ

や！ 保険ちゃんとするのかよ？」なんて言わないでしょ？ そんな人でなしなことは。

ボクラがクリスチャンは、神の恵みによって救われた。「恵み」とは、値しない物を得ること。自分の努力や

国に行けるような道を知っている。

「どなたか、天国に行ける方法を知っていますか？ 死

後にどこに行くか分からない人たちがたくさんいます！ 死んだら地獄に行ってしまう人たちがたくさんいます！

南加キリスト教教会連合

天国に行く方法は？

滝井ジュン

行いに全くかかってない。ただ、それを与える人が憐れみ深いから、無料で与えられているという物。与える側の気前よさにかかっていること

そして聖書を通して、人が天国に行くための方法を知っている。人の罪が赦され、天

救う方法を知っていましたら、どうか名乗り出て、伝えてください！」との声があったら、どうする??

人を救う方法を知っていないから、無視できる？ 聖書の言う、天国に行く条

件は、ボクラの行いに全くかかってない。神の慈悲深さ、神の愛、神が愛であるが故に、ボクラがまったくそれに値しなかったとしても与えられるもの。無料で。

天国に行く条件が、カネを積むだとか、善行荒行をするだとか、善行を積むだとか、そういうモノであったなら、それは恵みではない。働きであり、報酬だ。

キリスト教では、ただ恵みによって、神の一方的な愛と憐れみによって天国に行くのだ、と聖書は言う。

十字架によって、全人類の罪を赦そうと神はされた。2000年も前にその赦しは完了した。

だから今、罪の赦しは神の前に行き、ただ受けるだけ。無料で。

(カルバリー・チャペル La Habra 牧師)

(6) 2015年(平成27年) 6月18日(木曜日)

皆さまは、父の学校をご存知ですか。私はNYで行われた日本語父の学校に2泊3日で参加しました。もとは、韓国にあるオンヌリ教会を中心に始まり、聖書から真の男性像を回復しようというプログラムです。内容は、父親の影響力、男性の霊性、父親と家庭というテーマで講義があり、スモールグループでSHARE、ディスカッションをします。また、生活の実践として生活宿題があります。その中で、父に手紙を書く宿題があり、私も天国にいる父に手紙を書きました。手紙を書きながら、私は涙を流しました。それは、今まで問題の無いふりをしてきた私の心の奥底には大きな傷があったからです。

「天国のお父さん。お父さんに手紙を書くのは初めてです。あと少して、お父さんの亡くなった年齢に近づいていきます。お父さん、あなたはその時僕の知らないところで、

を理解できませんでした。ごめんなさい。私には赦してほしい罪があります。死ぬ3日前に本当に苦しそうなあなたを『愛さなかった』ことです。その3日後あなたは自ら

南加キリスト教教会連合

天国の父への手紙

北野 実

人間関係に悩み、職場の事で困り、クリスチャンとして葛藤を覚え、苦しんでいました。あなたは休みたくても、休みたいと言えない、弱さを見せない人でした。私はあの時、苦しかったあなたのこと

命を絶ちました。それは、大きな衝撃でした。僕が背中を押したのかも知れない？ 罪責感に駆られ、こんな罪人が生きて良いのか？ 死んだら謝れない、誰にも言えない罪に縛られま

した。しかし、唯一私のために十字架で死んでくれたイエス・キリストが、死んで天国に向かったお父さんに向かって十字架の釘跡を見せて『お前の息子が犯した罪を赦してくれないか、私があるために十字架に掛かったから』と言って、あのぼろぼろに殴られた顔で見つめてくれる、私のために。

お父さん、僕は罪人でした。赦してください、尊いイエスの血潮で。私のために、地上の父も、天の父なる神様も死んでくださいました。だから私は生きています。生かされている。イエスに会わなかったら、生きていますか？

お父さん、僕は牧師です、僕のためにぼろぼろになったイエス・キリストの愛を伝えていきます。父なる神様との回復のために、人に、教会に、仕えていきます。お父さん、応援してください。何も無い、できない俺に神様の夢がなるように応援してください」

この南加州で父の学校をしたいと思えます。2016年の2月の第3週を予定しています。ご興味をお持ちの方は hinoru@saranga.org 日本語WEBは <http://fatherschool.net/>

（トーレンス・ジュピリー コミュニティー教会牧師）

(6) 2015年(平成27年) 7月2日(木曜日)

『あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう』(創世記12章1節-3節)。

既に終了しましたがNHK朝のドラマ「マッサン」を楽しく見ました。時代背景は大正から昭和にかけてのもので、当時まだ珍しかった国際結婚をした夫、マッサンとスコットランドから嫁いできた妻、エリーがいろいろ問題に向き合いながらも家庭を築き、酒造会社を興していく様が描かれており、ドラマの主題歌「麦の唄」を中島みゆきさん

が歌っています。きっと中島さんは海を越えて日本にやってきましたエリーを一粒の麦になぞらえ、この歌を作ったのでしょう。
「なつかしい人々 なつか
おいで』。どんな時も届いて

南加キリスト教会教会連合

麦の唄(アメリカ・バージョン)

大倉 信

美しい風景、そのすべてと離れ
ても あなたと歩きたい。風
吹く大地も、風吹く時代も
陽ざしを見上げるように、あ
なたを見つめたい。麦に翼は
なくても 歌に翼があるのな
ら、伝えておくれ故郷へこ
来る 未来の故郷から、麦に
翼はなくても 歌に翼がある
のなら、伝えておくれ故郷へ
ここで生きてゆくと。麦は
泣き 麦は咲き 明日へ育つ
てゆく。麦は泣き 麦は咲き
明日へ育つてゆく…」

「麦の唄」中島みゆき

アメリカに住む私たちも日本からやってきた一粒の麦のようです。私たちの多くは身寄りもなくこの国にやってきて、風吹く大地を歩くようなことや、風吹く時代を通ることもありました。でも、そんな毎日であっても神様は変わらずに私たちの道のりを照らし続け、その光を見上げて私たちがここまで歩んできました。

そう、私たちはこの国でイエス・キリストに出会いました。日本にいたのならそのよきな機会はなかったかもしれませぬ。懐かしい人々、懐かしい風景、その全てと離れて、この地にやってきた私た

ちですが、この国で新しく神の家族が与えられ、雲一つない青空とパームツリーが私たちの心の風景となりました。泥に伏せるような時も確かにありますし、くじけてしまいうような時がこれからもあるでしょうが、いつもイエス様の言葉が私たちを立ち上げさせてくれることを知っています。

私たちはこの国にまかれた一粒の麦です。麦は泣くこともありますが、しかし、この麦はやがて実を結ぶということを確認して、これからもイエス様と共にこの大地を踏みしめながら、一步一步、歩んでいきます。

(サンディエゴ日本人教会 牧師)

「なぜ教会が大きくなって
もこの世の光と塩になるのが
難しいでしょうか？」

それは教会の中でクリス
チャンが少ないからじゃない
でしょうか？

多分、クリスチャンが少な
いのは、「イエス・キリス
トである狭い門に入ったら祝
福を受ける」という半分し
かない福音の教えにあると思
われます。「狭い門から入り
なさい。滅びに至る門は大き
く、その道は広いからです。
そして、そこから入って行く
者が多いのです。いのちに至
る門は小さく、その道は狭
く、それを見いだす者はまれ
です」(マタイの福音書 7
章13-14節)。

20世紀の後半から、教会の
成長のために、もっと多くの

人々を集めるために、かなり
の教会の講壇からの説教はも
ちろん、宣教団体での伝道の
中でも、福音伝道の核心内容
が変質されました。
いつか伝道者に従って『罪
く見られます。それは聖書の
教えを歪曲した結果です。
ある伝道者が言ったよう
に、『ガレージに行ったから
といって、自動車にはならな
いように、人は教会に通った

南加キリスト教教会連合

狭い門、狭い道

泉川 嵩

人の祈り』を言い信仰告白
をしたから、洗礼を受け定
期的に礼拝に出席し教会の働
きに献金をするから、「私は
クリスチャンだ！ 私は救わ
れたからいざれ天国に行くん
だ！」と確信している人が多
く見られます。それは聖書の
教えを歪曲した結果です。
ある伝道者が言ったよう
に、『ガレージに行ったから
といって、自動車にはならな
いように、人は教会に通った

の父のみこころを行う者が
入るのです」(マタイの福
音書 7章20-21節)。
確かに、私たちは恵みに
よってイエス・キリストの義
を頼る信仰により義とされま
す。(ローマ人への手紙 10
章9節)。しかし、救いに
つながる真の信仰には御霊の
実がついて来るはずで
す。人はボーンアゲン(新生
し、霊的に生まれ変わる)ク
リスチャンになったら、神様
はその人を必ず聖化に導きま
す。その結果、その人の内
側に内在する聖霊の力により
変化の実が結ばれます。罪に
対して敏感になり、常に悔い
改めをする人生に変えていき
ます。
霊しいの救いは神がなさる
事です。したがって、人が

確かに救われたという証拠
は、その人が聖化されていく
過程の中で結ばれる御霊の実
です。「御霊の実は、愛、喜
び、平安、寛容、親切、善
意、誠実、柔和、自制です」
(ガラテヤ人への手紙 5章
22-23節)。
初代教会は他の物はあるま
りなくても「私にあるものを
上げよう」と言いながら世界
に向けて与える十字架の福音
がありました。彼らにはこの
世の栄華はなくても、主イエ
ス様で十分でした。
なぜなら、主が、罪だらけ
の我らを死ぬほど愛し、身代
わりに裸むき、十字架の上で
死んで下さり大きな対価をお
払いになったからです。(ヨ
ハネの福音書 3章16節)。(ヨ
ハネの福音書 3章16節)。
神様の愛の真髄(エッセ

ス)であるイエス様の真の福
音を伝えましょう。
自己否認から始まる神様と
の深い関係を持ちながら、御
霊の力によって、この世に良
い光と塩の影響を与えまし
ょう。
この世に御国を来たらせる
ために犠牲を尽くし、迫害を
耐えましょう。
真のクリスチャンになれる
狭い門に入ったら、必ず、永
遠の命に至る狭い道に導かれ
るべきです。神様と共に行く
この狭い道には救いがあり
真の喜びと平安があります。
「すべて、疲れた人、重荷を
負っている人は、わたしのと
ころに来なさい。わたしがあ
なたがたを休ませてあげま
す」(マタイの福音書11章28
節)。(恵み教会牧師)

待ち合わせの場所に、友人が黒い服装で入ってきた。午前中、葬儀に参列したのだそう。

その人の服装が、性格や仕事を表していることが多い。選手のユニフォーム、医師のガウンなど…。

イスラエルの大祭司には、服装規定があった。大祭司は、幕屋の奥に、一年に一度だけ入り、しかも自分自身と民との過ちのために、捧げる血をたづさえないで行くことはなかった(ヘブル人の手紙9:7) イスラエル人がエジプトを出て、荒野をさまざめた時代には、祭司たちは、幕屋で務めをした。幕屋とは、大きなテントで、「会見の幕

屋」と呼ばれていた。ここで、音書1章の「言葉は人となつて、神に見(まみ)えたからである。『泊る、宿る』といは、ユダヤ人の『幕屋を張る』という意味で、神が共に宿られていたからである。神

南加キリスト教会連合

大祭司の服装と イエス・キリスト

山本 真美子

場所)ヘブル語の『シエカン (shikan)』という語源から。幕屋は移動式で、任命されたレビ人たちが運び、民はそれを囲んで宿営をした(民数記2:1-31)。ヨハネ福

に、イスラエルの子らの名前を刻み、それぞれを金の棒にはめ込み、それをエポデといわれる肩当てに着けた。裁きの胸当てと呼ばれた胸当てを、金糸や、青糸、紫糸、緋糸、亜麻のより糸で作り、その中に12種類の寶石を四列にはめ込んだ。頭には、純金の王冠を冠った。これには、「主への聖なる者」という字

が刻まれていた。それは、「捧物に関する咎(とが)を負う」という意味があり、神殿に入り、民のために罪を執り成すその「大祭司自身が、神への奉納物・生贄(いけにえ)だ」という理由だ。彼は、神に捧げられた奉納物であり、「イスラエルの民全体が神に捧げられ

た」と同じ意味である。イスラエルの国民で罪を犯した者は、死刑を宣告された。罪を犯した人が、自分の罪の代用として、羊や山羊や子牛などの動物を生贄として祭司に持って行くと、祭司は、その血を採り、罪人の身代わりとした。聖書のヘブル人の手紙では、大祭司は、イエス・キリストと知ることができる。「神に捧げる動物の犠牲の不完全さに対して、大祭司自身が責任を持つ」とは、何と大きな意味だろうか。イエスも全ての罪を犯した人のために、一生に一度、大祭司として自分の血を流された。また、一度だけ至聖所に入られ、それによって永遠の贖(あがな)いを全うされたのである。(南加連合・宣教部)

(6) 2015年 (平成27年) 8月13日 (木曜日)

4月末、ホンダが米国で開発した小型ビジネスジェット機「ホンダジェット」が日本上空を初飛行し羽田空港に着陸した。ホンダが1962年から航空機への参入を宣言してから半世紀余りで「本田宗一郎の夢」が実に実現したのである。

だが、ホンダの航空機開発に関しては、『あの男』を抜きに語れない。東大航空学卒を卒業後、中島飛行機で、世界でも数例を除いて実用化していなかった日本初のジェットエンジン「ネ130」を、驚くほど短時間で開発した中村良夫である。

彼は、戦後のGHQ(連合国軍最高司令部)による航空禁止令により職を失い、実家で農業をするなどしていたが、1958年、38歳でホン

ダへ中途入社する。社長面接で、一回りも年上の本田に向かつて中村は開口一番「世界のホンダになるつもりなら、四輪を生産し、さらにF1グランプリの舞台を目指すべきだ。私はオートバイだけのホ

南加キリスト教教会連合

「ホンダジェット」

古林 真理樹

ンダに入社する気持ちはありません！」と言ひ放ち、すかさず本田社長は「出来るか出来んかオレにはわかんねえけど、俺はやりてえよ！」と応じたのだ。

その後、中村はホンダの4輪開発を手がける一方、64歳までなっている。

実は聖書にも似たような人物が登場する。イスラエルの先祖ヤコブは、何と神様と取っ組み合いのケンカをしたのだ。

「ヤコブはひとりだけ、あとに残った。すると、ある人が夜明けまで彼と格闘した。するとその人は言った。『わたしを去らせよ。夜が明けると』しかし、ヤコブは答えた。『私はあなたを去らせません。私を祝福してください。』あなたの名は何というのか』彼は答えた。『ヤコブです』その人は言った。『あなたの名は、もうヤコブとは呼ばれない。イスラエルだ。あなたは神と戦い、人と戦って、勝ったからだ』(創世記32章24、26-28節)

とあるように、人の姿で地上に降り立った神(後のキリストの子表)に臆することなく向かって行き、かえって祝福をゲットし、ヤコブ(だます者)の名を返上し、イスラエル(神の戦士)という名をいただく。行動力はあるが人を押しつけて来た結果、にっちもさっちも行かなくなった彼が、神の懐に飛び込んだ時から劇的に道が開けたのである。

神様を宗教や自分には縁のない遠い存在と感じている人は多い。たとえ神を信じる者であっても、何となく後ろめたさを感じることもあるだろう。だがあえて神さまにぶつかっていいこう。彼は「やってみなはれ」と押し出して下さる。そうして後に、夢が羽ばたく時が来る。

(南加聖書教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 8月27日(木曜日)

先日、興味深い話を友人から聞きました。その友人は植物を育てるのが大好きで、いつも自分の家の庭にあるたくさんの鉢植えに水をやるたびに、植物に話しかけながら水をやるそうです。しかも自分が特に好きな花や鉢植えには長く話しかけるそうです。

「今日は元気? よくここまで育ったね。素敵なお色だよ。君のことが大好きなんだ」といった具合です。まるで恋人に話しかけるようです。その友人が言うにはそのように特にたくさん話しかけられた植物は、明らかに他の鉢植えよりも背も大きくなるし多く花をつけるそうです。毎年彼の庭では植物の種類に関係なく、多く話しかけられた植物が特に美しく花を咲かせるのです。

言葉には驚くべき力が潜ん

でいます。人が発する言葉が、人間はもちろん植物さえも励ましたり慰めたり、あるいは傷つけたり壊したりも出来るのです。1コリント14:3)

聖書には「預言」(「予言」ではない)という言葉が

南加キリスト教会連合

「人を造り上げる」ことば

市川 祥

たくさん出てきます。それは文字通り言葉を神から「預言」された人が多くの民衆に神の言葉を伝えるという意味です。新約聖書では使徒パウロはその「預言」の定義をこう書いています。「しかし、預

言する者は、人に向かって語っているのです。人を造り上げる、励まし、慰めます」(第一コリント14:3)

聖書の中で最も多くの預言者が現れたのは、イスラエルという国が南北に分裂し、その民が生きる指針を失ってしまつた混乱の時代でした。そこで預言者たちはまさしく民をもう一度イスラエルを神の民として立ち上らせるために、神から預かった言葉を大胆に語つたのです。言葉と

いうものはただコミュニケーションをとるためだけのものではなく、迷っている人々を「造り上げ、励まし、慰める」ためのものなのです。そしてそれが神が「言葉」を操る能力を人間に授けた理由そのものであるのです。現代もまさしく混乱、混乱の時代であり「預言」の言葉を必要としているのです。

「人を造り上げる」とは目の前の人がさらに成長するために「気付き」を与えてあげることです。その人が気付いていない自分の才能や可能性、時には問題点を気付かせてあげることによってその人が自分自身を造り上げる手伝いをします。「励まし」はあきらめないことを根気よく伝えることです。「慰め」はその人が何度転んでももう一度立ち上がる力を与えます。私

たちは日常生活で目の前にいる人を「造り上げる」言葉を語っているでしょうか? かつて人を「壊す」言葉を吐いていないでしょうか? 家族や友人、同僚を「励まし、慰め」ているでしょうか? 「傷つけ、落胆」させていないでしょうか?

あなたの隣にいる人に対して神はあなたを預言者として遣わしているのかもしれない。今日から人を美しく造り上げていくための言葉を語りましょう。もし自分には人を造り上げるような言葉を持っていないという方はぜひ聖書を読んでください。聖書こそ時代を超えて人々を「造り上げ、励まし、慰め」てきた預言書そのものであるからです。

(リバーサイドFM教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 9月10日(木曜日)

ある有名な会社の責任者の方がカンファレンスの参加者に尋ねました。

「あなたの夢は何ですか。志は何ですか?」「夢を持って仕事をしていますか?」

そのようなことを会社の責任者が言われたことに参加者たちはびっくりしたそうです。今頃、夢? 志? そんなものが役に立つの? と。

ところが、会社の責任者の方が、その質問をした理由を話してくださいました。それは、数十年前に会社が難しく、株主総会で会社の損失について説明をする時に起こった話でした。その時、実は責任者の方は病院入院中、しかもお医者さんからあと5年以内に死ぬと宣告された状況だったそうです。そして、株

主総会の場で「これから先10年間は利益を期待しないでください」と話し、株価も真っ逆さま。「あいつはなんてやつだ」といわれて、大変な雰囲気の中で、最後にある年配

す。99%下がって1000万円が10万円になった。全財産の遺産をつぎこんだ。だけど私に悔いはありません。今日のあなたの話を直接聞いて、私はあなたの夢に賭けて本当に

南加キリスト教教会連合

あなたの夢は何ですか

北野 実

のおばあさんが、話をされました。

「私は主人の残してくれた遺産1000万円、退職金の遺産を全部あなたの会社の株に投入しました。それはあなたの夢と志を信じたからで

よかったと心から思いました。信じてますから頑張ってください」そう言われたそうです。会社の責任者の方は、今もその方のイメージが焼きついて離れないそうです。すべてはそこから始まり、

会社内部の雰囲気、株主の方々の雰囲気すべてが変わり、現在の会社があるそうです。そして、今30年ビジョンを持って会社が未来に向けている話に、参加者は大きな感銘を受けたそうです。そのエネルギーは、一人のあなたのおばあさんの言葉から来ているそうです。

さて、私たちの情熱は、どこから来ているのでしょうか? 私たちの夢は、志はどこから来ているのでしょうか? お金だけがすべてでしょうか? 年を取ったから夢はない、とかでなく、志を持って人生を生きているのでしょうか? 誰かを幸せにしたい、それを通して自分に喜びがあるでしょうか? 聖書は言います。

「あなたはどこにいるのか?」「詩篇32:8、私はあなたがたに悟りを与え、行くべき道を教えよう」「幻のない民は滅びる」「老人は夢を見、青年は幻を見る」

あなたには、夢があるのでしょうか? それは、自分の創造者であるイエス・キリストに出会うときから始まります。自分の生きる意味を知るときから始まります。自分の価値を大事にするときから始まります。イエス・キリストは言われます「私はあなたを愛している」と。遅い、ということは人生にありません。ぜひ、もう一度はじめてみませんか。イエスはあなたを待っています。
(日系ジュビリー・コミュニティ 二テニー教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 9月24日(木曜日)

多くのクリスチャンが、一度は、聖地であるイスラエル旅行に行ってみたいと考えています。それはイスラエルが、イエス・キリストの降誕の地、そして十字架にかかられた地、さらに、信じがたいことですが、キリストが死から甦った特別な地だからです。私は最近、イスラエル旅行に行く機会を得ました。

日本人は、一般的に神様が

いるのかいないのかを問題視さえしていません。神様など、いてもいなくてもいいと考えがちです。唯一絶対の神、万物の全てを創造した神など、意外にもいないとさえ考える人も多いのです。しかしイスラエルの人々は違います。というより、中東やヨーロッパ、アメリカ、また世界中の人々は違います。神がないとは誰も考えません。全ての存在を造られた神様は当

然おられると考えています。それは大人でも子供でも同様です。

この視点は、ごく当たり前な事で、目の前にあるいろいろな物は、誰かが造ったから存在しているわけです。造った方がいないなら、そこに

まり宇宙を造り、地球を造った創造者なる神様は存在して

いないはずはないのです。日本人以外の多くの人にとって、神様とは、いるのが当たり前な事で、いないと考える人の心を、実は理解できない

関心を持って下さっているのか、その辺が大問題なのです。歴史上、その大問題に答えを与えた方が、聖地イスラエルに現れたのです。それが、イエス・キリストだった

のです。キリストは神様の御子であつたのに、人間の姿をと

中、命をかける人はいません。彼らは、よみがえったキリストを証言し始めたのです。それがキリスト教のスタートです。

人々のために命を投げ出した神の子が、歴史上存在したのです。そんなことは、それまで誰にも考えられないことでした。そのキリストの故

南加キリスト教会教会連合

イスラエル聖地旅行

田辺 豊

存在していないからです。石ころ一つでも、誰かが造らなかつたなら、そこにはないはず

そのような、神様の存在を信じる人々にとつての一大問題

赦しを与えるためでした。十字架から来られた証明のため

は理解できます。あなたも、ぜひイスラエルに行ってみてください。そして神様の奇跡の愛に触れてみてください。

(ミッシェンバレーフリー メソジスト教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 10月8日(木曜日)

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている」(ローマ人への手紙8:28)

このお言葉は、トルストイ作の『イワンのバカ』のモチーフとなった。「神は万事を益となるようにして下さる」。この聖句を信じたイワンは、この世の賢さが次々に敗退していく中で、イワンだけは運命論や宿命論をくつがえす勢いで、決して屈しなかった。

軍人の長男と商人の次男、それから末弟のイワンを撃滅させようとたばかったサタン

は、長男と次男には成功するのだが、バカのイワンには全く歯が立たず、逆にサタン一族が根絶してしまう。

神の摂理に忠実に従って生

『ヨハネのバカ』になる。神の摂理は愛が基になって、いることは言うまでもない。その神の愛は十字架のイエスによって実証されている。御

南加キリスト教会教会連合

神の摂理

新井 雅之

きていくことは、あきらめや妥協ではなく、希望に満ちあふれた人生の歩み方である。

余談になるがロシア語のイ

ワンは英語ではジョン、ヘブライ語になおすとヨハネ、

子イエスが来たのは、人々を罪から救うためであり、身代わりに死ぬことによって、人々がキリストの自己犠牲の愛を信じるためであった。

イエスはご自分の死によっ

て人々の罪をあがなえば、神から赦されることをご存じだったので、自ら進んで尋問をお受けになり十字架の上で処刑された。

やがてイエスは前もって弟子たちに仰せられたとおりに蘇られて、弟子たちにイエスを救い主として信じる福音を述べ伝えるように命じた。

神の摂理に生きるということは、神を愛し隣人を愛して互いに仕え合うことである。

「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」(ヨハネ14:15)

◇

「人は赦すことを知らなければならぬ。まず、自分自

身を救し、つづいて広くみんなを赦すことを」

筆者はソール・ペローの小説『Scene The Day』(この日をつかめ)の中で、主人公のトミー・ウィルヘルムが神への悔い改めの祈りをささげる直前に呟いた、自己の魂を解放させた独自に神の摂理を憶える。この言葉はウィルヘルムの危機的な毎日の中で、極限状態に陥ったときに生まれた。

広くみんなを赦すことと、神と和解することによって自分に負わされた十字架が、誉ある高貴な光となって悠久に輝き続けるのである。

(WLAホーリネス教会)

(6) 2015年(平成27年) 10月22日(木曜日)

先日うちの教会に通っておられる方から、「先生、来週説教される聖書の箇所をあらかじめ教えてもらえませんか。前もって読んで予習しておきたいです。」というリクエストを受けて、少々困ってしまいました。正直なところ、私はそんなに真面目な性格ではなく、前日ギリギリにならないと決まらないのです。それで困ってしまったのも理由の一つですが、主な理由は「予習」がもたらすネガティブな影響を懸念したのです。学校の勉強で「予習」というと、非常にポジティブな響きがあります。しかし、もしそれが、単に自分が経験していないものを、誰かの意見を通して先に知るといふ意味での「予習」であれば、先入観や偏見を

身につけるための「予習」で終わってしまう時もあるのではないのでしょうか。どこかで聞いた話ですが、ヨーロッパのある国では映画館の外にチケットを求めて列を作っている人々を対象に

なければ、小銭をくれ」というなんとも面白くスケールの小さな犯罪なのです。私たちは、映画、ドラマ、小説のような物語に関して、どんなに長い時間を掛けて、でも、お金を払ってでも、

た方が楽だと、思うようなところがある気がします。特にロサンゼルスのような多人種多民族のメルティング・ポットに生きていると、人種や民族、文化や価値観の違いなどに関して「予習」で済ましてはだめだなとつくづく思う時があります。むしろ、いい加減な「予習」で知っていたことが仇となって、逆に相手を理解することへの妨げになるといふこともしばしばです。

南加キリスト教会連合

「リアルタイム学習」

キム・ホンソン

『闇チケットの売人』ならぬ『闇情報の提供者』(?)がいるそうです。例えば、サスペンス・スリラーものなどの映画を見る前の観客に近づいては、「誰が犯人で、どういう結末になるかを聞きたい

直接体験したいという欲求があります。しかし、実際に自分の人生に関わる大事な事柄に関しては、わざわざ自分で体験することなしに、むしろ誰かの意見をそのまま鵜呑みにして済ませ

「みんなそう言っている」といった類いの通念を学習する「予習」ではなく、「自分がすでに知っている」と思っていることに対して、もう一度よく見て感じて、新しい発見をするという「リアルタイム学習」が必要ではないでしょうか。

(C)TKルーテル教会牧師

私がクリスチャンになる前は、感謝できない状況でどうして感謝なんかできるのかと考えていました。しかし、教会へ通い出して聖書を読み始めて、衝撃を受けました。それは、この世の中の価値観とまったく違う事がたくさん書かれていたからです。その一つが、「すべてのことについて感謝しなさい」(テサロニケ第1章5:18)です。そのとき思いました。「そういえばそうだな。教会に来ている人たちは、苦虫をかみつぶしたような顔をして文句を言っている人はいない。みんなニコニコして感謝している」。どうして、いつもあんなに感謝してられるのだろうかと不思議でした。「すべてのことについて感謝しなさい」というみことばの教えをそのまま生きている人々たちを見て、すごいと思いました。

その秘訣はなんだろうかと考えました。クリストを信じて、いいことばかり起こって悪い事が起こらないので感謝できるのかなと思いました。聖書を読んで教会生活を続けていくうちに、その秘訣がわかっていきました。クリストを信じて、いやなこと、辛い事、苦しい事はたくさん起こります。しかし、その起こる出来事に対しての見方、考え方が変えられてしまうので、不平不満を言って落ち込む事は無いのだとわかりました。どういう見方、考え方になるのかと言いますと、神

ことを、私たちは知っています(ローマ8:28)。試練や困難も「すべて」の中に含まれます。なぜこのような辛い目に自分が遭うのかわからないときがあります。そのときの自分にはどうしても理解できない。しかし、神様は必ずこのことをも益としてくださる。神様の大きなご計画の中で、「すべてのこと」は働

南加クリスト教会連合

逆境で感謝する

上野 五男

様がすべてのことを働かせて必ず最善にして下さるといいう信仰の視点が与えられるのです。

いて益となる。だから、「すべてのこと」に感謝することができるのだとわかりました。

聖書は、痛いとき、苦しいときに、無理矢理に「痛くないよ。気持ちいい、と言いなさい」とは言っていない。苦しいときや痛い時はそのまま、神様に「苦しいです」と祈ればいいのです。でも、

有名な聖書のみことばを覚えてもらったとき、衝撃を受けて納めました。「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる

気をつけなければならぬ、人間は、試練や困難にあうと、それしか考えなくなるといふ悲しい習性があります。つまり、辛い事が起これば、そればかり考えてしまつて、どんどん落ち込んでいくのです。人間は弱いのでそのように考えやすいのですが、辛くて苦しい中でも、視点を変えてみると、また見えてくるものがあり、感謝すること

自分の動かなくなった手足だけに目を向けるのではなく、機能するものに目を向けるといふことでした。目が見え、耳が聞こえます。鼻で匂いをかぐ事もできます。窓の外に緑の木々が風にそよよぐのが見えます。鳥のさえずりが聞こえます。自分で言いたい事を言えます。感謝できることが次々に出てきました。

「もし私が首の骨を折っていなかったら、今私はどうなっていたかを考えると、ぞっとする時があります。初めは、神がどうしてそれを許されたか分かりませんでした。今ははつきり分かります。神は、私が健康であるよりも麻痺していることを通して、はるかに多くの栄光を受けるようになったのです。あなたには全然分からないかもしれませんが、そのことがどんなに私の気持ちを豊かにさせた事でしょう」。ジョニは、逆境の中で希望を見いだしました。その希望はクリストを信じる信仰によって与えられたのです。(ロサンゼルスぶどうの木 国際教会牧師)

今年の5月1日から約1カ月間、安息休暇を利用して、沖縄の北に位置する奄美大島から青森県の津軽に至るまで日本縦断伝道旅行をした。こんな長い日本滞在はこの北米の地で34年前に牧会を始めて以来、初めてのことである。

もしも「あんたは誰でしたっけ」などと言われたらどうしようかなど、母に会うまで不安であったのだが、幸いにも母は僕のことを覚えていてくれた。「ちかさ、よく来た

よい。そこで家族みんなで手を取り合って一緒に祈った。「主イエス様、母や、二人の姉たちや兄を守って下さい」と祈り始めると、母は涙を流し始めた。それを拭くために子供たちと結んでいた手を上げようとす。その母の涙声

も、全存在を賭して僕を愛してくる主イエス様が共にいて下さる。その主により継いで生きてゆける。「わたしは、決してあなたを離れず、あなたを捨てない」(ヘブル13・5)という主のお言葉がそれを約束している。しかも、この地上の生涯を終えても、その約束は永遠に変わらない。

南加キリスト教教会連合

愛される喜び

杉村 宰

奄美大島からはじまって熊本、北九州、広島、四国、東京、そして最後に青森経由で実家のある津軽に着いた。94歳になっている母や長姉、兄に会うためである。そこには同じくワシントン州から来ている次姉も来ていた。

「ご」との第一声に、それまでの不安が一気に吹っ飛んでしまった。

時間だべな」と言っは、玄関先に立つ。そんな母と数日過ごすことができたのだが、例のように別れがやってくる。僕は羽田からの深夜便で帰るので、その日の午後には新幹線に乗れば

それらの僕を支えてくれる存在の再確認が、今回の旅の収穫であり、目的であったのかも知れない。その夜、僕は機上の人となった。愛されているという喜びが、生きる力なのだ。あらためて確認させられた思い出ぶかい旅となった。

母は僕の姉兄二人と一緒に暮らしているが、すでに前年から認知症が始まっていた。その母は僕を見て、何と云うのだらうかと心配であった。

母は週2回のデー・ケア・サービスに喜んでゆく。しかも、そこに毎日行くものだと思っている。だから朝毎に、

調やメモリーが果たしてどうなっているのだらうか、このような涙の別れも、本当にこ

(オレンジ郡キリスト教会 牧師)

ある田舎の農村に、たくさんの人を雇って生活を営む金持ちの農家があった。ある日、その若息子が父親に言った。「お父さん、あなたの財産から私が受けるべき分を今下さい。都会の方で何か新しいことでもしてみたいですから」。そこで父は財産を分けてやった。やがて青年は、たくさんの現金を持って、ワクワクしながら色とりどりのネオン輝く夜の町へのめり込んでいった。デイスコ、ヒップホップ、ビール、ワイン、酒、タバコ、着飾った厚化粧の女の子たちが次々と青年に近づいて来る。最初のうちには高級ホテルに寝泊まりしていたが、そのうち、すっかりかんになり、着ていた服もボロボロになり、物乞い始める身に成り下がってしまった。やつのことで豚に餌をやる仕事が見つかった。何日も食べ物らしい物を

食べたことがなかったので、とうとう豚の餌に手を突っ込んで食べようとした時に、青年は故郷の父親のことを思い出した。「僕は今、ここで飢え死にしようとしている。父の所では、雇い人たちがいくら食べ

は決心するやいなや故郷の方へ方向転換して、弱り果てた足で走り出した。父親は、家に鍵をかけずに、毎晩のように外に出て息子の帰りを待ちわびていた。そんなある日、息子の小さな頭が遠くの方からポツンと見え出すと、二人

は決心するやいなや故郷の方へ方向転換して、弱り果てた足で走り出した。父親は、家に鍵をかけずに、毎晩のように外に出て息子の帰りを待ちわびていた。そんなある日、息子の小さな頭が遠くの方からポツンと見え出すと、二人

南加キリスト教会教会連合

父よ、かれらをお救しください

岩田 春子

ても有り余るほどの食べ物がたくさん有る。そうだ！父の所へ帰って、こう言おう、

『父よ、私は天に対しても、あなたに向かっても、罪を犯しました。もうあなたの息子と呼ばれる資格はありません。どうぞ、雇い人のひとり同様にして下さい』。青年

とも駆け寄り抱きしめ合って泣き出した。父親は、雇い人たちに大きな祝宴を命じて言った。「息子は死んでいたのに、生き帰りました。いなくなっていたのにつかっていたのだから」。『聖書ルカ15章 放蕩息子参照』

私は十代の頃、東京の大森教会に通っていた。ある日の礼拝メッセージは、キリストが二人の犯罪人と共に、十字架に掛けられた時であった。それ迄はいつも上の空で聞いていたし、2千年も前の出来事を信じるなんておかしいと思っていた。何の罪もないキリストは人々のために身代わりにされ、十字架の上で『父よ、彼らをお救し下さい。彼らは何をしているのか分からずにいるのです』(聖書ルカ23:34)。私はこの御言葉にただならぬ衝撃を受けた。果たして人間は殺害する者のために折れるのだろうか。何はともあれキリスト教とは一体何なのか追求するようになった。礼拝後教会の方にそのことを話すと、『何はともあれ洗礼を受けなさい、そうしたら聖書の意味が分かるようになるから』と言われ17歳の時、多摩川で受洗した。それから神学、宗教、哲学、文学、心理学等をむさぼり学び、いつの間にか聖書学院で学んでいた。

神学校3年生の時、四国の愛媛県に派遣された。卒業科目の中に「実践説教」があり、説教をするはめになった。祈りつつ待望している中、『7回迄ではなく70倍にする迄救せ』というキリストの言葉が頭に浮かんで来た。(その時、ペテロがイエスのもとに来て言った。「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯した場合、幾度赦さねばなりませんか。7たび迄ですか」。イエスは彼に言われた。「わたしは7たび迄とは言わない。7たびを70倍にする迄にしなさい」。聖書マタイ18:21、22)するとフーと自分の父親のことが浮かんで来た。父は外づらは良かった。わが家も農家が、30人以上の雇い人がいた。貧しい人々を家に住ませたり、身寄りのない人々を助け、父は「生き神様」呼ばわりされていた。だが酒癖が悪く、飲んだくれで母に当たり散らし、その上、女遊びもひどく、隣人を招いて宴会を開き、朝方まで三昧線を引き踊り狂っていた。私は母が不憫でならず、ただひたすらに父を憎んでいた。あんな父などいない方がいい、父を憎む事は正しい事だと信じていた。いよいよ説教をする日が来てしまった。わたしはまず説教壇に立つや否や、『7倍を70倍に赦せ』との御言葉はわたしには実行出来そうもありません。と父親との関係を言いますと、あちらこちらからすすり泣きが始まり、『わたしも、父親を、母を、娘を、夫を、姉や先生を赦せないのです』と、全員に悔い改めの霊が降注がれ、一同が聖霊に満たされ、心の底迄洗い清められ明るくなり、どんな人でも赦せる気になり、喜びが溢れ出して来た。

やがて神学校を終え、故郷の沖繩へ帰る時が来た。生まれて初めて父が飛行場迄迎えに来ていた。父はわたしを抱きしめ、『赦してくれ、赦してくれ』とすすり泣きをしていった。わたしも、『お父さんご免なさい！ご免なさい！あなたがわたしのお父さんである事を感謝します』と、創造主なる父なる神様は私たち親子の罪を赦すためにキリストを十字架に掛け身代わりの死を遂げさせて下さった。十字架でのキリストの言葉『父よ、彼らをお救し下さい。彼らは何をしているのか分からないうるのです』。『7倍を70倍にして』は、赦され、赦された者としてのわが実感であり体験である。(サンライズフォー اسکエア教会牧師)

やがて神学校を終え、故郷の沖繩へ帰る時が来た。生まれて初めて父が飛行場迄迎えに来ていた。父はわたしを抱きしめ、『赦してくれ、赦してくれ』とすすり泣きをしていった。わたしも、『お父さんご免なさい！ご免なさい！あなたがわたしのお父さんである事を感謝します』と、創造主なる父なる神様は私たち親子の罪を赦すためにキリストを十字架に掛け身代わりの死を遂げさせて下さった。十字架でのキリストの言葉『父よ、彼らをお救し下さい。彼らは何をしているのか分からないうるのです』。『7倍を70倍にして』は、赦され、赦された者としてのわが実感であり体験である。(サンライズフォー اسکエア教会牧師)

(6) 2015年(平成27年) 12月17日(木曜日)

「サンタさんはいるの？」
お子さんからこう聞かれた時
に、どう答えたらいいか困っ
ている親御さんたちの会話を、
毎年このシーズンになると、
よく耳にします。

子どもたちの素朴な質問
に、たいていの場合困惑しな
がらも、シンブルに「いる
よ」と答える方がとても多い
ようです。そこでお子さんが
納得すればいいのかもしれない
せんが、好奇心旺盛な子ども
たちの質問は、そこで止まら
ないことが多いようです。

「じゃあ、どうやって、
たった一人で、しかもたった
一晩で世界中の子どもたちに
プレゼントを配れるの？」
「煙突の無い家には、どう
やって入ってくるの？」
「なんでトナカイが空を飛べる
の？」
サンタ・クロースの起源

は、4世紀のトルコに実在し
た、ニコラスという司教で
す。ニコラスは、貧しい子ど
もたちを助けたことで多くの
人たちに慕われ、後に聖ニコ
ラスと呼ばれました。

子どもたちの素朴な質問
に、たいていの場合困惑しな
がらも、シンブルに「いる
よ」と答える方がとても多い
ようです。そこでお子さんが
納得すればいいのかもしれない
せんが、好奇心旺盛な子ども
たちの質問は、そこで止まら
ないことが多いようです。

オランダ語の「Sinterklaas」
と呼ばれていたのが、英語の
発音に直されて、サンタ・ク
ロースとなりました。
そして19世紀になると、サ
ンタ・クロースがどんどん
ファンタジーに仕立て上げら

スマスのお祝いと結びつけら
れるようになりました。それ
はオランダで続き、17世紀に
なってオランダ人たちが、当
時植民地であったニューアム
ステルダム(今のニューヨーク
を建設した際に、アメリ
カにその伝統が入りました。

れ、トナカイのそりに乗って
空を飛んだり、煙突から入っ
てきたりといったイメージが
つけられてしまい、聖ニコラ
ス(サンタ・クロース)の本
来の意味がほぼ失われてしま
いました。
さて、そのサンタ・クロ

南加キリスト教教会連合

クリスマスに

寺嶋 伯文

スと呼ばれるようになった聖
ニコラスとお祝いを結びつけ
たクリスマスとは、英語で
Christmasと書きますが、そ
れはもともとChrist(キリス
ト)のMass(ミサ)という
意味です。

他の言語では、フランス
語の「Noel」、イタリア語
の「Natale」これらは「誕生
日」という意味です。さらに
ドイツ語では「Weihnacht」
と呼ばれ、これは「キリスト
が生まれた聖なる夜」という
意味です。つまり、キリス
マとは、イエス・キリストが
生まれたことをお祝いする日
です。

命力を持っています。そこに
はイエス・キリストが与えて
くれる永遠に続く愛、そして
永遠の命を意味しています。
そして赤は、私たちに永遠
の命を与えるために十字架の
上で命を捧げてくださったイ
エスの血潮を表しています。

「神はそのひとり子を世に
遣わし、その方によって私た
ちに、いのちを得させてくだ
さいました。ここに、神の愛
が私たちに示されたのです。
(1ヨハネ4:9)」
神であるイエス・キリスト
は、私たちを愛し、私たちの
ために、赤子となってこの地
上に来てくれました。今年の
クリスマス、これを讀まれる
あなたの心に、主イエス・キ
リストの愛と平安があります
ように。
(ローリングヒルズカペナ
ント教会牧師)